

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料

家 庭

教科用図書南那珂採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 家庭科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得から応用・発展的な学習へつながるよう学習内容が配列されており、児童の発達の段階に応じて、系統的に学べるように構成されている。また、5学年では8題材、6学年では7題材が設定されており、題材の配列を組み替えることで、地域や学校の実態に応じた指導ができるようになっている。基礎的な知識や技能は、その多くを5学年で学習し6学年で再度学習することで、より確実な定着を図るように配分されている。さらに、各題材の振り返りや各学年末の「まとめ」を設定することで、自分の成長を実感できるような工夫が見られる。
9 開隆堂	(1) 家庭科の目標を達成するために、スモールステップによる反復学習を通して基礎的・基本的な内容を定着させ、応用・発展的な内容へつながるよう学習内容が配列されており、2年間を通して系統的に学ぶように構成されている。また、5学年では「生活を見つめ、できることを増やしていこう」で11題材、6学年では「工夫して生活に生かそう」で9題材が設定されている。題材が細かく区切られていることで組み換えがしやすく、地域や学校の実態に応じた指導ができる配列となっている。さらに、6学年の終わりには、2年間の学習を振り返り、中学校の学習へつながるような工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 日常生活に必要な知識や調理・製作実習における基礎技能を「いつも確かめよう」で示し、確認したり、振り返ったりしながら学べるようになっている。また、さまざまな写真やイラスト、動画を活用することで、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。
9 開隆堂	(1) 日常生活に必要な知識や調理・製作実習における基礎技能を「実習で役立つワンポイント」で示し、確認したり、振り返ったりしながら学べるようになっている。また、簡単なものから積み重ねて学習できるようになっており、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) テーマカラーで分けられた学習内容や実習を安全に行うために手をのせて練習できる実寸大の写真を表示している。また、豊富な動画コンテンツによって、効果的に学習を進めることができるように工夫されている。
9 開隆堂	(1) 領域を色分けしたインデックスを用い、大きさの感覚がつかみやすい実物大資料や裏表紙に野菜の切り方・ものさしを表示している。また、豊富な動画コンテンツによって、効果的に学習を進めることができるように工夫されている。

4 地域の願いや思い、児童の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、児童の確実な基礎・基本の定着という視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 家庭や地域との連携が図れるように、単元ごとに「深めよう」が設定されており、家庭や地域での実践を促すように、ワークシート例の提示といった手立てが見られる。さらに、日本各地の文化を「日本の伝統」というコラムで紹介しており、地域に根ざした伝統文化を理解できるような工夫が見られる。 (2) 児童の確実な基礎・基本の定着のために、各単元のステップごとに「ふり返ろう」が設定されており、スモールステップで振り返りをすることで、知識・技能についての確認ができるような工夫が見られる。
9 開隆堂	(1) 家庭や地域との連携が図れるように、各題材に応じて「生かす・深める」が設定されており、家庭や地域での実践を促すように、実践レポート例の提示といった手立てが見られる。さらに、日本各地の文化を「伝統」というコーナーで紹介しており、各地の食文化や衣生活の文化を理解できるような工夫が見られる。 (2) 児童の確実な基礎・基本の定着のために、単元の終わりに「学習をふり返ろう」が設定されており、単元始めのめあてに戻って振り返ることで、知識・技能について確認ができるような工夫が見られる。